

4 機械の機能および構成ユニットの説明

この章では、機械の総合仕様と機械を構成している各ユニットの仕様、構造や操作の方法を説明します。

4. 1 機械総合仕様

機械の仕様を次に示します。

項 目		仕 様	
		G P (U) -2 0	
		2 5	5 0
テーブル上振り	mm	φ 2 0 0	
最大加工径	mm	G P	φ 1 0 0
		G U	φ 1 0 0
センター間距離	mm	2 5 0	5 0 0
最大加工重量 (両センター作業)	kg	2 0	
機械総重量	kg	1 4 0 0	1 6 0 0

4. 2. 2 といし台の仕様

項 目	仕 様	
	GP-20	GU-20
型 式	GP-20	GU-20
旋回角度 度	非旋回式	時計回り30
使用できるといし寸法(外径×内径) mm	$\phi 280 \sim \phi 355 \times \phi 127$	$\phi 235 \sim \phi 305 \times \phi 127$
使用できるといし幅 mm	25~50	25~50
といし回転速度 min^{-1}	1650	2000
といし軸モータ kW	2.2 (4P)	2.2 (4P)

4. 4 といし台送り

4. 4. 1 といし台送りの仕様

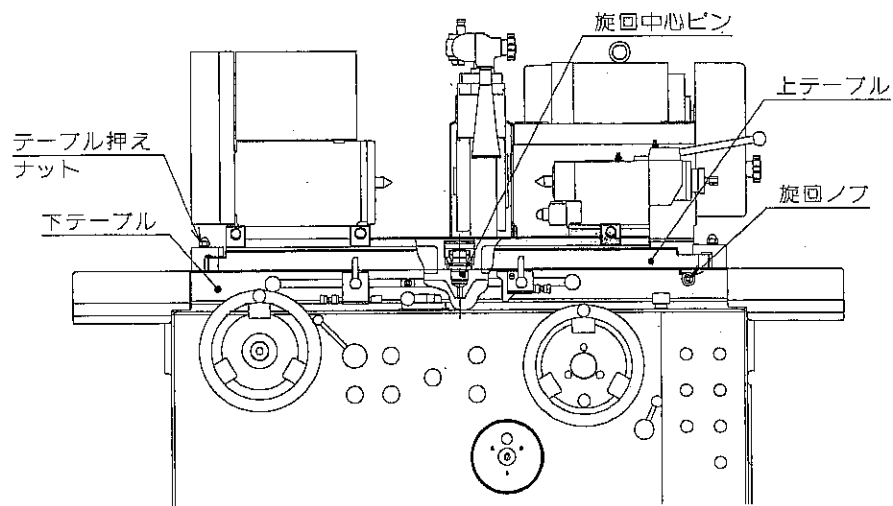
項 目		仕 様
手送り移動距離	mm	165
早送り移動距離	mm	20
ハンドル送り量	ϕ mm/回転	2.0
	ϕ mm/目盛	0.005
自動切込全移動量	ϕ mm	1.0
プランジカット自動切込速度	ϕ mm/min	0.04~3.0
プランジカットスパークアウト調整範囲	sec	0~99.9
トラバースカット自動切込量	ϕ mm	0.002~0.2
トラバースカットスパークアウト調整範囲	往復回数	0~999999

4. 7 テーブル

4. 7. 1 テーブルの仕様

項 目		仕 様	
センタ間距離	mm	250	500
最大ストローク	mm	330	600
旋回角度	といし台側	度	11
	作業側	度	5

4. 7. 2 テーブルの構造



テーブル構造図

- ・ テーブルは、ベッド上を摺動する下テーブルと、旋回可能な上テーブルより構成されています。
- ・ 上テーブルは、旋回中心ピンによって下テーブルに取付けられています。
- ・ 上テーブルは、左右両端のテーブル押えナットにより、下テーブルに固定されます。
- ・ 下テーブルには、上テーブルを旋回させる旋回ノブが組み込まれています。

4. 2 1 外径定寸装置 (東京精密)

4. 2 1. 1 安全遵守事項

- 1) 測定ヘッドに過度な衝撃を加えたり、誤って落下させないでください。
- 2) 測定ヘッドの蓋などは、絶対に開けないで下さい。
- 3) クランプねじ、アジャストねじ、その他の固定ねじ類は、むやみに緩めたり、回したりしないで下さい。

4. 2 1. 2 外径定寸装置の仕様 (E-TS-1071B) パルコムΣ

項目	仕様
測定範囲	φ8～φ65
駆動部ストローク (空圧)	50
フィンガL (mm)	42
定寸メーカー	東京精密